

議 議 とよとみ 会

平成30年11月

第225号

9月定例会

9月10日～9月12日

contents

決算、どう使った？

行政報告

一般質問

審議内容

町議会が予算をチェック

委員会レポート

・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
13	12	10	7	5	2

今月の表紙

「1番目指して全力ダッシュ！」

豊富小学校マラソン大会 2018年9月12日



一般質問 町長に聞く！ P7～

小笠原議員

「豊富町の酪農発展を！」

農業担い手確保対策の更なる取組を伺う！」

斎藤議員

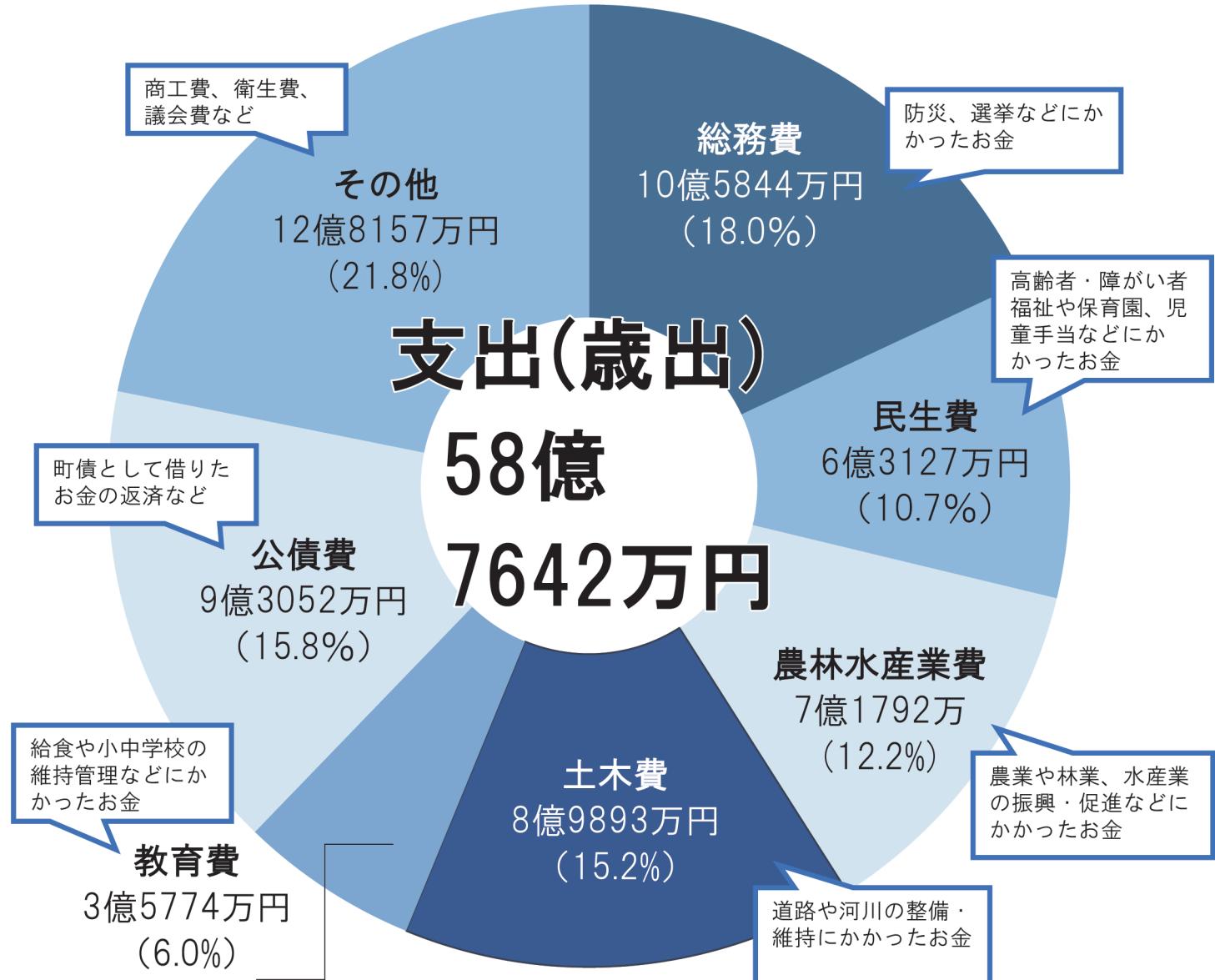
「予期せぬ災害に備えた対応を！」

防災対策を伺う！」

79億円

一般会計歳出
58億7642万円

前年度比16.0% 減



町債(借金)と基金(貯金)の状況

(平成30年3月末人口： 3,977人)



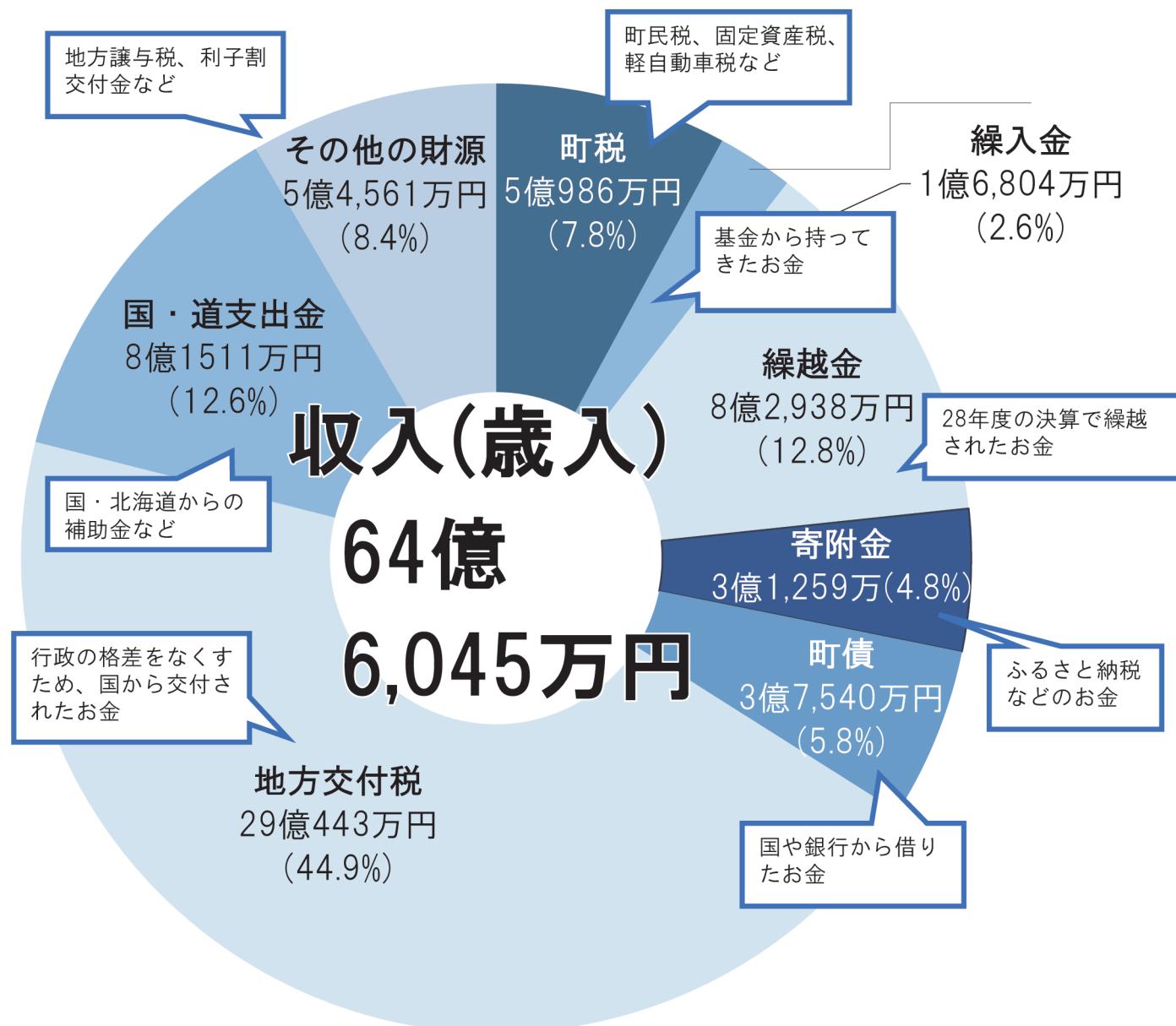
豊富町 平成29年度
一般会計決算

5億円の黒字

9月定例会には、平成29年度一般会計から特別・企業会計までの10会計の決算認定議案が提出されました。収入から支出総額を差引きし、30年度へ繰越す額を除いた実質収支額は、一般会計で5億8,123万円の黒字決算となりました。

決算

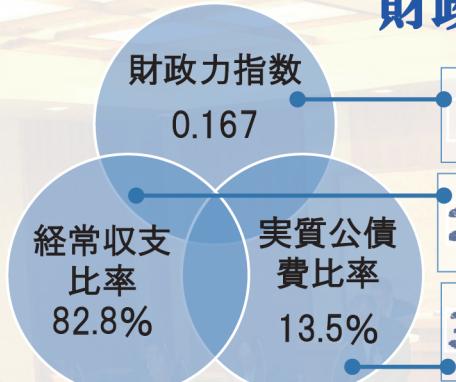
どう使った？



各会計の決算状況と採択の様子

区分	歳入	歳出	採決の結果
一般会計	64億6045万8053円	58億7642万8469円	全員承認
特別会計	国民健康保険	7億1029万2622円	全員承認
	後期高齢者医療	5648万9704円	全員承認
	簡易水道	1億5447万3253円	全員承認
	下水道	2億3647万9468円	全員承認
	介護保険	4億9633万1074円	全員承認
	介護サービス	1660万831円	全員承認
	ガス	4307万4060円	全員承認
	国民健康保険病院	5億3887万1586円	全員承認
企業会計(ガス)	0円	0円	全員承認
合計	87億1307万651円	79億6222万3459円	

めざせ 効率のよい 行財政運営



- 予算のうち、どれくらいを自前の税収で賄えているかを表します。指数が高いほど財政力が強いことを示します。

人件費など毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多いことになります。

一般会計が負担する借金返済費用の割合。数値が高いほど他の事業にあてる財源を圧迫することになります。

自治体が置かれている現状は引き続き、極めて厳しい状況であることを再認識し、町民が安全で安心して暮らせる町づくりのための積極的な対応を望むものである。

近年、顕著なふるさと納税による寄付金により、有効財源として各種まちづくり事業へ充当されていることは高く評価するものであり、今後も新しい特産品の発掘など、更なる返礼品の充実も図られた

国営事業分担金、公営住宅の使用料は、収入未済額が多額であるため、法的措置を講ずるなど、引き続き滞納者に対する督促や納入の指導等を実施し、収入の確保に努めるこ

町税収入は、職員の徴収に対する意識向上と努力により、収納の成果は顕著に認められるが、収入未済額は多額であり、引き続き納税意識の喚起に努める。これを図ると共に実態に応じた適切な収納対策と収入の確保に努めること。

北海道の経済社会情勢は個人消費で回復しつつあるものの未だ厳しく、地方創生の取組みや町民の暮らしを守る課題への対応など、適時・適切に応えられることが求められる。いる。

景気不況による厳しさ
積極的な収入対応を！

監査委員の意見

平成29年度 ○○注目事業

町の予算がきちんと執行されたか、予算審議で慎重審議し、すべての会計決算が認定されました。その中で、議会が注目をしたものを見ました！

もしものために置いといて

高齢者緊急通報システム整備事業 171万3000円



新しい産業おこしのきっかけへ

企業立地促進補助事業 2221万5000円



困っている人へ手助けを

豊富町権利擁護推進事業 214万2000円



より住みよい豊富町に

富士見団地公営住宅建替整備事業
2億2352万2000円



行政報告

9月6日 震度7を観測した胆振東部地震

北海道全域に大きな被害が発生

**町内全地区でブラックアウト
支援いただいた皆様にお礼を—**

町内農家の生乳の受け入れは、おおな順次開始がされている。今後被害状況の詳細把握と対応策を進めることになる。ご心配いただいた町議会の皆様とご協力いただいた各団体、関係機関の皆様方に重ねて感謝を申し上げると共に、今後も様々な災害に迅速に対応できるよう努力していきたいと考へています。

国の発表では復旧までの時間を要するとのことだったが、豊富市街地の一部と温泉地区については、9月7日午前3時まで32分間に復旧がされた。9月7日午前3時他の32分間に復旧がされた。

停電発生を受け午前5時に災害対策本部を設置し、町民の皆様に防災行政無線や広報車での状況周知を行うと共に各町内会長、民生児童委員、建設協会、日赤奉仕団、商工会女性部の方々をはじめ、関係機関にご協力をいただき、支援を要する高齢者の方々等の対応やインフラの安定確保に避難所開設等に努めた。

9月6日午前3時頃に発生した胆振東部地震は最大震度7の強い地震で、苫東厚真火力発電所をはじめとする北海道内全ての火力発電所が緊急停止をした。道内では全域約295万戸で大規模停電が発生し、本町においても全地区で停電となつた。

西天北5町衛生組合議会定例会

平成29年度決算と平成30年度補正予算を認定

本会議では、平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定の提案があり、歳入総額8億6千20万2068円、歳出総額8億5千474万4956円の決算を認定した。次に、平成30年度一般会計補正予算が提案され、旧し尿処理施設解体事業が2年間となつたことによる継続費設定と、各町負担金の減額等について審議が行われ、歳入歳出予算総額を1億9千7万6千円減額とする予算案を可決した。

な、当該事業を進める上
で解体が必要となる旧し尿処理施設は、当初1年間の実施予定だったが、紙おむつ燃料化事業を進めることとなつたた
め、平成30年度から平成31年度の2ヶ年で解体を実施したた
いとの説明があり、これらについて了承をしていく。

全員協議会では、使用済み紙おむつ燃料化施設建設事業の説明を受けた。使用済み紙おむつ燃料化事業は、補助事業検討の結果、循環型社会形成推進交付金制度を利用し、平成31年度から平成32年度の2年間で事業を実施したいと説明を受けた。

生産乳量

対前年度比102%
一方で停電の影響の心配も

平成30年4月から7月末までの生乳生産量は、対前年比102%となり、本年は管内的にも増加している。一方で今般の停電による乳牛個体や乳量の影響を心配していくところである。今後においても後継者不足等による離農が進むことが予想される。現在が新規就農に向けた1件が研修を実施し、円滑な就農に向けて取り進めている。引き続きJAと連携して酪農基盤の安定に向けて努力していく。

今春は例年と比べ降雪量が多く、気温の低い日が続いた。草の収穫作業は例年並みで始まつた。しかし、6月中旬から7月中旬頃まで続いた天候不順により収穫が大きくなれど、収穫量は多いものの栄養価が低く、纖維質が多い粗飼料が受け取られており、酪農経営の影響を心配している。2番草は7月下旬に進んでいる。この好天により、生育が順調で、収穫作業は順調に進んでいます。

天候不順で収穫おくれる 牧草収穫状況



町内修徳地区に世界最大級の72万kW蓄電池施設が設置される。今後、送電線関係工事や様々な関連工事が行われることにより、町内経済が活性化することを大きく期待したい。また、工事により関係車両が多く通行するものと予想されるため、事業主体と打ち合われるたまに、事故防止に対する安全対策も併せて行う予定である。

風力発電

**世界最大級の蓄電池施設
経済の活性化に期待**

今年度の事業は暗渠排水など農地保全工6工区で実施をした。平成31年度予算確保に向けては「農地防災全国促進協議会要請活動」への参加や、土地連宗谷支部の会員の方々と、農林水産省や国土交通省北海道局に対し、事業予算の確保を訴えた。更に宗谷地域総合開発期成会の一員として、政権与党や道内選出国会議員をはじめ関係省庁に要望した。引き続きあらゆる機会を通じて事業推進に努力をしていく。

関係省庁に要望を

請負工事の発注 状況 契約件数28件 発注率72%

7月18日には北海道特別教育振興協議会代表として、支
援初等中等教育局長方3名に対
して、北海道の特別支援教育の実態を説明して、特別支援教育支援員の充実強化を図るための財源措置等7項目について要請をした。次に、7月23日から25日まで実施した、「土地・宗谷開発期成会」と「土地連宗谷支部の要望会」では、北海道庁・北海道選出国会議員の方々へ、各種事業の当初予算の確保と本年の長雨に影響等を強く要請した。7月26日には、一般国道の整備促進期成40号令に對する要望をした。

**各種事業の当初予算の確
保ほか関係省庁へ要望**

平成30年度における各会計の工事請負費の予算総額は、4億1448万2000円。8月末現在での契約件数は、3億234万600件で予算総額に対して72%未満の発注率となつた。今後は順次入札を執行し工事を実施する。

安全な臓器移植手術のために—

臓器移植の環境整備を求める意見書

9月12日に行われた議会では、3つの意見案の採択を行いました。全て原案可決され、意見案については関係機関に送付しました。

しかし、平成30年5月31日時点における増加移植希望者が、心臓で684人、肺で325人、肝臓で313人、腎臓で1万931人、脾臓で206人となっているなど、心停止後のものを含めても臓器提供者数が必要数を大きく下回つており、その理由としてドナーや臓器提供施設数が少ないことが指摘されている。よつて本議会としても意見書を関係機関に提出し、その意思を反映させていくも

こうした動きが我が国における平成22年の臓器の移植に関する法律の改正につながり、本人の意思が不明な場合であつても家族の承諾により臓器を提供することが可能となつた。改正以後、脳死下で29年間の臓器提供者は年々増加し、で
人平の臓器と成り立つてゐる。提供者数は
77

臓器移植の普及によつて薬剤や機械では困難であつた臓器の機能回復が可能となり、多くの患者の命が救われてい
る。一方、臓器移植不ツトワーカ
が構築されていない外国にお
ける移植は臓器売買等の懸念
を生じさせ、人権上ゆゆしき
問題となつてゐる。国際移植
学会は、平成20年に「各國は
自國民の移植ニーズに足る臓
器を自國のドナーによつて確
保する努力するべきだ」とす
る主旨の「臓器取引の移植
ツーリズムに関するイスタン
ブル宣言」を行なつた。

意見書名	提出先
臓器移植の環境整備を求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣
2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、内閣府特命大臣（地方創生規制改革担当・経済財政政策担当）
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

↑ 意見書全文については、豊富町ホームページにて掲載しております。

一般質問

豊富町のここが聞きたい！

問 小笠原議員

豊富町の酪農発展を！

農業担い手確保対策の更なる取組みを 伺う！

また、就農面談会で「子どもを預かれる保育所が近くにあるか」という質問が最も多いようです。就農したいくても子どもの教育環境が整備されていなければ、新規就農に至らなのが現状であると思います。現在豊富町近郊での学校は兜沼小中学校1校であり、酪農地域の子育ての拠点として保育所を兼ねた学校環境整備が今後必要かと考えます。現在、国は認定こども園を推し進めております。学校の生徒が少なくなつてき

本町の酪農が更なる発展を遂げるためには、後継者の育成、新規就農者、従事者の確保対策が今後の重要な課題と考えます。技術や経営のノウハウが途切れず次世代へ継承されることや、新たな才能が外部から取り入れられることにより、時代に応じた新たな酪農形態が構築されるものだと思います。そのためには関係機関の更なる連携が必要不可欠です。豊富町農業担い手育成センターでは事業費の確保がされておらず、各機関の予算で活動を行なつております。早急に構成員と協議をし、本来の機能を發揮させるため、活動助成が事業費等を確保すべきと思ふがどうか。考えはいかがでしょうか。

本町は新たな酪農の担い手確保と
して、5年ほど前より、道内・道外
で就農相談会を実施しております。
結果、全国各地より酪農実習で本町
を訪れる方が年々増加し、今年度は
15名を超える見込みと伺っております。
また、平成27年度には2戸、平成
28年度に1戸の新規就農者が誕生し、
来年度も1戸の予定があるそうです。
5年間で4戸の新規就農者が誕生する
実績は、非常に目覚ましいと認識して
おります。一方、現状で経営者の高齢化や後継者不足から
10年以内には酪農家戸数が相当減少す
ることも懸念されます。



担い手育成センターの予算化を前向きに検討するとともに、子育て支援の議論も深めていく

工藤町長 答



は、新規就農者や後継者の確保・支援を目的として活動し、新・農業人フエアなど豊富町酪農PRと実習等、就農希望者の確保を行つております。しかし、費用は構成機関で必要経費を負担して頂いておりますが現状です。今後は関係機関との連携を強化し、柔軟かつ迅速な対応を行うためにも、担い手育成センターとして、予算化することも重要なになってきております。こので、事務局である農業委員会や構成機関と協議をし、前向きに検討したいと考えております。

問 斎藤議員

町民にも温泉の魅力の還元を！

温泉使用料について伺う！



交通や施設利用料金などのあり方
を検討し、町民の皆様方が愛し続け
られるような温泉つくりをしたい

町内にある公衆浴場の老朽化を考えると、現在利用されている方々を温泉利用に切り替えていくことも必要になつてくるのではないでしょか。それには、交通手段と料金の問題が出てきます。稚内市ではバス代100円、入浴料100円で利用できると聞いております。交通手段の確保や料金の減免など、検討が必要になつてくるのではなく、湯治に訪れる方だけではなく、町民にも温泉の魅力を還元してなによか。お考えを伺いたいと思います。

工藤町長 答

具体的な対策として、温泉から豊富市街地までの交通の便は、既存のバス路線との兼ね合いなども含めてどのような手段が可能か、時間帯やルートが町と温泉を利用する方々とつて適切なのかを現在行なつております。豊富温泉振興第2期計画中で、稚内市等の例も参考にしながら、施設利用料金のあり方も含め検討したいと思います。世界に類を見ておこなうといふ泉質で豊富町の大きな財産である豊富温泉は今まで長い間、町民の皆様方がつくり、支えてきた温泉であります。保養、休養を含めて温泉を町民の皆様方が愛し続けていたいと思います。十分享行ないたいと思います。

寿湯の存廃は、現在行なつていい
公共施設等総合管理計画で十分なる
検証と今後の利用の協議を行なった
いと考えております。



議会とよとみでは発言の省略をしています

議会とよとみでは紙面の都合により、内容の省略をしております。

詳しく見たい方は豊富町ホームページに議事録を掲載しておりますのでご覧ください！

他にも、議事結果等を順次更新しております。ホームページが閲覧できない方は、掲載している資料を郵送することも可能ですので議会事務局にお問い合わせ下さい。

問 斎藤議員

予期せぬ災害に備えた対応を！

防災対策について伺う！

現在、同スピーカーの子局は市街地に5箇所、兜沼市街地と温泉市街地稚咲内市街地、海岸沿いに各1箇所ずつ、の計9箇所に設置しております。特に市街地における音声伝達は、放送内容が聞き取りにくいなどのご指摘を頂いております。運用開始以降業者と協議し、スピーカーの音量や方向確認、消防の火災予防運動等に併せ、計18回の調査を行ないました。状況や区域によつては外部スピーカーだけでは限界がある結果になりました。今後、現在の防災行政

が設定されましたが、今回の停電では、食事関係を電気で賄つて、電気供給ができないときには、災害避難施設がある施設が、電気を確保するため、電気代を支払う必要があります。また、停電の原因によっては、ガスで炊飯をすることがあります。しかし、ガスで炊飯をする場合は、ガス漏れによる火災や爆発の危険性があります。因此、停電時にガスを使用する場合は、安全確認を行ってください。



胆振東部地震の停電で出てきた問題点を踏まえながら改善していく

次に、避難施設の態勢です。ともと電気を重点に使つてきましたところでもあります。そこで、ガスの炊飯も併用して進めるとして、ガスの営業所と協定連携をしております。優先的なプロパンガスの確保や、炊飯器を含めたプロパンガスのコックの確保をしていただくという協定を結んでおります。今回はプロパンガスを利用した炊き出しも行いました。一方で、避難施設の暖房対策や非常用発電、水道の連続運転が弱点として分かりました。また、改善していったところは、内閣府の内会議を開き、改善していったところは、内閣府の内会議を開きました。また、12月から来る灾害対策を強化したいと思います。また、防災マネージャーと共に、12月から来る灾害対策を強化したいと考えております。

降雨量4630ミリで、一部の地区において農地冠水の被害を受けました。現況は平成25年度に作成したもので、当時と比べ想定以上の災害が頻発している状況です。今後、国や北海道で示してある基準等の他、本年度調査を実施

答 平成31年度以降に情報伝達手段の多様化をしていく

ま三取無す重れ線までのなで伝いす、
‘達なが’各考手どえ段の色に設置を声々置され
を考もあ条さるいえり件れ
ます。‘きす’と思二聞防災
い重き災

せ必町のの0の9月
要の決20西日1
くだと思ハ倍ミリ本日
さ思ザなに達を豪
いい！ど被し超雨。
。まド被し超雨、え災防災
すマ害のツが土、害災
で普出砂7でのおて崩月は日
おのて崩月は日、でし
お見おれの考え直りや平総降。7
えをしま河均降。川降雨
おもす堤水量3月
聞今。堤水量3月
か後本防量3月

問 伝達方法の工夫と
季節に合わせたシュー
ミレーションを！

無線を活かしながら、登録制メールや電話などの情報伝達手段の多様化を平成31年度以降に進めたいと考えています。

工藤町長 答

震全善を対策本部で議論し、少しずつ改音声伝達については胆振東部地
たでり応回でい数載届内会の協力を仰ぎ、多層的な情報傳
。検のの改く、見直し、農家は奥まで入つて個車地と地区によつても聞こえ方が大
討改今反省までのあり方と、仕組み作面作地にしましたが、残念ながら市街地であれば
するよを冬期間に向けて仕組み作面作地でも特に、車両搭載スピ－
善を対策本部で議論し、少しずつ改音声伝達については胆振東部地
たでり応回でい数載届内会の協力を仰ぎ、多層的な情報傳
。検のの改く、見直し、農家は奥まで入つて個車地と地区によつても聞こえ方が大
討改今反省までのあり方と、仕組み作面作地にしましたが、残念ながら市街地であれば
するよを冬期間に向けて仕組み作面作地でも特に、車両搭載スピ－
善を対策本部で議論し、少しずつ改音声伝達については胆振東部地
たでり応回でい数載届内会の協力を仰ぎ、多層的な情報傳
。検のの改く、見直し、農家は奥まで入つて個車地と地区によつても聞こえ方が大
討改今反省までのあり方と、仕組み作面作地にしましたが、残念ながら市街地であれば
するよを冬期間に向けて仕組み作面作地でも特に、車両搭載スピ－

審議内容

条例制定2件、条例改正6件、選任同意1件、報告議案4件、計13件はいずれも原案可決されました。



↑グループホーム和ごろの利用者

条例改正

- ・豊富町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- ・豊富町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する
- ・豊富町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定め、改正されたため一部改正をするもの。豊富町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定め、改正されたため一部改正をするもの。

- ・豊富町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例
- ・豊富町医療介護総合確保推進法の改正に伴い、介護保険法第81条第2項の規定により新たな条例を制定するもの。
- ・豊富町篤志寄附基金条例
- ・故・石川静江氏の遺言により新たな条例を制定するもの。

報告

- ・豊富町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童支援員の担い手が全国的に不足していることを踏まえ、資格要件の拡大を図る改正をするもの。

- ・語学指導等を行う外国青年の給与等に関する条例の一部を改正する条例

A.I.Tの給与の所得税等の取扱いを改正するもの。

- ・豊富町基金条例の一部を改正する条例

教育振興基金を追加するもの。教育学校事業の推進に寄与するもの。

- ・消防団員等として多年にわたり地方自治の振興に貢献した消防団員等による善行表彰
- ・古市 紀光 工藤 健



↑火災時に備えて訓練に励む消防団

告白

平成29年度決算に基づく豊富町財政健全化判断比率
実質赤字比率 なし
連結実質赤字比率 なし
実質公債費比率 13.5%
将来負担比率 12.4%

平成29年度決算に基づく豊富町公営企業会計資金不足比率の報告がされ、全て資金不足比率なしと報告がされた。

- ・国民健康保険病院事業特別会計
- ・簡易水道事業特別会計
- ・下水道事業特別会計
- ・ガス事業会計

人事案件

- ・豊富町教育委員会委員の選任同意

氏名 吉田 琴路
住所 豊富町東1条3丁目

専決処分

- ・平成30年度豊富町国民健康保険診療所直診勘定特別会計補正予算

審議内容

平成30年度豊富町一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算案8件は
いずれも原案可決されました。

豊富町のお金のうごき *



補正予算

▽主な歳出・支出

【一般会計】

小規模土地改良事業

1600万円

豊富町西部地区道営農道保全

対策事業

3255万8000円

豊富町東部地区道営草地整備

事業

2075万円

企業立地促進補助事業

2623万4000円

教育振興基金積立事業

1億2080万6000円

下水道事業特別会計繰出金

△1550万円

【特別会計】
国民健康保険事業
償還金

16万5000円

後期高齢者医療事業
後期高齢者システム機器更新

51万9000円

事業

国民健康保険診療所直診勘定

管理係経常経費

324万5000円

簡易水道事業特別会計

農業水路等長寿命化・防災減災事業

903万1000円

下水道事業

上下水道事業経常経費

546万8000円

特定環境公共下水道事業

△6330万円

【ガス事業会計】

29万円

平成30年度会計 補正の結果

項目	補正額	予算総額
一般会計	2億5636万2000円 増	55億1143万5000円
国民健康保険事業特別会計	16万5000円 増	5億8551万8000円
後期高齢者医療事業特別会計	62万9000円 増	5849万6000円
国民健康保険診療所直診勘定特別会計	324万5000円 増	5億4050万8000円
簡易水道事業特別会計	1045万円 増	1億7771万円
下水道事業特別会計	5783万2000円 増	2億4542万5000円
介護保険事業特別会計	3963万円 増	4億9130万7000円
ガス事業会計	29万円 増	4396万2000円



そもそも
補正予算って
なあに？

予算編成後に発生した事由によって予算を増やす・減らすといった変更を行うもの。災害や新たな問題等、当初予算では想定していない事柄が出てくるため、補正をするのはやむを得ません。

どうして補正になったんだろう？と考えてみると面白いかもしれません。

あなたの声、町議員に聞かせてください！

「議事録や議会運営が気になる」、「町に要望してほしい」等、議会や町政について思ってることはございませんか？役場ロビーに設置している「議会の声」投書箱やメールで、あなたのご意見をお聞かせ下さい。
担当：役場 議会事務局 メールアドレス gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp



町議会が町のコトをチェック



と町の回答を一部ご紹介します。

行部へ様々な質問が投げかけられます。

「豊富町はどうなっていく?
私たちの税金はどんなコト
に使われるの?」

委員会では、そんな疑問を
解消するため議員から町の執

予算・計画案は、総務任委員会で慎重な審議が行わ
らる。



町長から提出された

本地域密着型介護予防サービス基準 等の条例の改正

利用者が暴れる等の対応でグループホームを含めた介護施設の職員の安全の観点から、一部身体拘束や拘束物を使っている所がある。人道的に行き過ぎていることもあり、指針を整備して拘束をする場合には適正に本人へ同意をとる。または同意が取れなければ、家族に同意をとることを基本とする。各施設が整備していくものである。



A グループホーム等利用者への身体拘束の適正化はどうなものか?



教育委員会委員の公募



募集条件を40代と定めず
広い範囲で公募しては?

上下水道料金

昨年から給水停止の措置をしつつ、現年度分を先に納入してもらい、余った分については滞納繰越にして、昨年度は圧縮している。しかし、亡くなつてゐる方や休んでいる法人等もあるのに、取れる見込みの事務手続きを進めたい。本年度に事務手続きを進めていきたい。



A水道料金の回収率が低い。努力は認めるが、落とせるものは落としてみては？



あるさと納税



豊富町に来ていただくような返礼品の実績は?



2F案内図

TEL 0162-882-1001

議室へお越しください。
日程の確認や、傍聴を希望する際には役場議会事務局へご連絡をお願いします。またホームページにも傍聴案内の更新をしておりますのでご覧ください。

議会とよとみに掲載しきれてい
ない議論もございますので
興味のある方は、ぜひ議員会

「詳しいことが知りたい！」

豊富町では、常任委員会の傍聴も可能です。

町政チェック

委員会レポート

日付	行事	内容
6/20	総務産業常任委員会 予算決算常任委員会	・診療所審議
7/5	総務産業常任委員会	・診療所審議
7/18	議会広報編集特別委員会	・議会とよみ第224号の編集
7/30	総務産業常任委員会	・現地視察
8/6	予算決算常任委員会	・豊富町国民健康保険診療所直診勘定特別会計補正予算の専決処分
8/13	総務産業常任委員会	・サロベツマイハート介護棟 ・教育委員会委員の公募
8/17	総務産業常任委員会	・桜愛会からの看護師受入れ
8/17	予算決算常任委員会	・桜愛会からの看護師受入れに係る補正予算の専決処分

日付	行事	内容
8/31	総務産業常任委員会	・第3回定例町議会議案審議 ・第5次まちづくり計画策定経過報告 ・地域防災の専門的知見に有する防災担当職員の採用 ・豊富町内における風力発電事業計画（案）、送電線網整備計画（案）
9/3	予算決算常任委員会	・第3回定例町議会議案審議
9/3	議会運営委員会	・第3回定例町議会の運営審議
9/10	予算決算常任委員会	・平成29年度決算の認定審議
9/11	予算決算常任委員会	・平成29年度決算の認定審議
9/11	議会運営委員会	・第3回定例町議会会期日程審議

- ①兜沼小中学校のトイレが簡易的洋式トイレとなっているので、改修すること。
 ②デイサービスセンター内の冷房を検討すること。
 ③各学校についても冷房を検討すること。
 ④旧福祉センター体育館の利活用の検討すること。
 ⑤各施設のフローチャートを作成し、廃止と維持するものの検討すること。
- 要望
- ・旧老人福祉センター
 - ・兜沼小中学校
 - ・兜沼農村環境改善センター
 - ・デイサービスセンター
 - ・豊富中学校
 - ・旧福祉センター

7月30日に、総務産業常任委員会で町内6か所を視察した。現地調査後、小泉副町長出席の下、各施設の要望を口頭にて行いました。

各学校に冷房の検討を！



10月12日
栃木県鹿沼市議会
無所属市民クラブ 様
・ヘルスツーリズムタウンの取組みについて

9月26日

熊本県甲佐町・甲佐町議会 様
・まちづくりについて（住環境づくり、移住・定住・地域交流の推進、ふるさと納税）

2市町の議会から視察にお越しいただき、貴重な意見交換の場にすことができました。この度はありがとうございました！

視察の受け入れをしました！

議会の結果や日程を お知らせしています



豊富町議会

[http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/
section/gikaijimukyoku/index.html](http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/gikaijimukyoku/index.html)



次回定例会は、
12月です！



正式な日程が決まりましたらホームページに掲載します。
お気軽に傍聴にお越しください！

議会活動報告 6月19日～9月9日までの出席した会合

北海道町村議会議員研修会



8	1	9月	31	23	17	14	9	5	8月	28	26	22	14	3	28
豊富町聖徳太子講祭安全祈願祭	豊富小学校新校舎落成記念式典・開校110周年記念式典	武部勤氏旭日大綬章受章記念祝賀会	Facebook政治家専用トレーニング	平和祈念祭	庄内夏祭り	西天北五町議長連絡協議会	北海道150周年記念式典			自衛隊稚内分屯基地開庁64周年記念祝賀会	稚内市施行70年・開港70年記念式典	宗谷本線活性化推進協議会中央要望会	自衛隊旭川地方協力本部創立12周年記念祝賀会	北海道町村議会議員研修会	新しい時代を拓く豊富高等学校のあり方協議会

委員会、議会以外の議長・議員の活動一覧です。

↑ 7月3日に札幌市コンベンションセンターにて研修会が開催され、歴史家・作家加来耕三氏より「明治維新から150年、現在そして未来を考える」、日本大学法学部岩井泰信教授より「現在日本政治と政局のゆくえ」を題材に講演が行われました。

ね。「わたしは、少子高齢化、地域との間交流の活性化から地域の代々の承継にあります。文化の「文化の日」となった理由は?と考えてみました。」

この時期、各地で「文化の日」に因んだイベントが開催されていますが、「文化の日」となった理由は?と考えてみました。温かい鍋料理が恋しい頃となりました。温かい鍋料理が朝日にキラキラと溶けていく様子に清々しました。

編集後記
小笠原 照美